



「ツエーゲン金沢BFC」 サポート事業

ツエーゲン金沢BFCは北陸初のブラインドサッカーチームです。2017年9月に、現・代表の松本陽子が「ブラインドサッカー立ち上げプロジェクト」を発足し、金沢市内の体育館を拠点に練習会等を開催しておりました。そして2018年5月より、ツエーゲン金沢のファミリーチームとして「ツエーゲン金沢BFC」に名称変更し、活動をスタートさせました。月2回練習会を開催しており、昨年は中日本リーグに参加し、公式戦デビューとなりました。また、ブラインドサッカーの普及活動も積極的に行っており、昨年は計11回開催しました。ツエーゲン金沢はBFCに対して、①告知協力②普及活動での人的サポート③活動資金集め、を行っています。

活動場所	：シェア金沢、他
取組テーマ	：ダイバーシティ（共生社会）
協働者	：ツエーゲン金沢BFC
協働者名	：ツエーゲン金沢BFC

活動で工夫した点

当クラブスタッフ1名を、ブラインドサッカー体験会に派遣し、BFCスタッフと同等に体験会を開催できるノウハウを習得させました。それにより、BFCの体験会に人的サポートができるようになりました。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

クラブ側の課題としては、①相互の情報共有不足②クラブ側のマンパワー不足によるサポートの遅れ、の2点が挙げられます。

クラブや地域の活動後の変化

「ツエーゲン金沢BFC」の活動スタート当初は、「北陸初」のブラインドサッカーチームであること、「ツエーゲン金沢」の名を冠しているということから、地域情報誌に取り上げられる機会が多々ありました。また、小学校や地元のサッカーチームからブラインドサッカー体験会の開催をご要望いただく機会が増えました。ダイバーシティの理解に少なからず貢献できていると考えています。



協働者の声

今年は初めて公式戦に出場したことで、他地域のチームとの交流もでき、メンバーそれぞれの士気も高まった。普及活動においても、福祉イベント等への参加のお声かけを多くいただけるようになり、幅広い年齢層の方々に体験していただける機会を持つことができています。しかし、まだまだ認知度は充分ではなく、メンバー増員につなげることができていない。改めて、チームの方向性や今後の活動内容についてメンバー全員で話し合い、以降の活動に活かしていきたい。

参加者の声

ブラインドサッカーの体験会を通じて、視覚障害をもたれている方への理解が深まったと共に「目が見えない状態でサッカーができるなんてすごい！」という声が多く聞かれました。また、「声と音のみを頼りにするスポーツ」ということで、「従業員間のコミュニケーション向上を図る企業研修の一環として体験会を行うのも良いのではないか？」との声もありました。

活動の「ここぞ！」というPRポイント

BFCの活動サポートをスタートして今年で3年目になりますが、今後の目標として、①BFCの自立運営、②クラブ内に「ブラインドサッカー部門」を立ち上げ事業化、③ブラインドサッカー日本代表選手輩出、を目指します。

補足

-